

国語

注意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マークシート解答用紙と記述解答用紙とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。マークシート解答欄は余りがでることがあります。
3. マークシート解答用紙は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. マークシート解答用紙にマークするときは該当する○にはつきりとマークしてください。マークのしかた (良い例) ● (悪い例) ○ ⊗ ⊙ ⊖
5. (万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)
マークシート解答用紙に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、マークシート解答用紙には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときにはマークシート解答用紙の「**受験番号記入上の注意**」をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
7. 記述解答用紙には、氏名、受験番号を記入してください。
7. 試験問題はこの冊子の一〜九ページに記載されています。
8. 問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
8. 情報数理学科のみ出願している方は、設問Ⅰと設問Ⅱ(A・B)を解答してください。設問Ⅲを解答する必要はなく、解答しても得点にはなりません。情報数理学科と他学科を併願している方は、設問Ⅲを含むすべての設問に解答してください。
9. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 次の文章を読み、後の問に答えよ。

原子核研究と原子力研究とは、その目ざす方向も、用いる装置も、全く質的に異なったものである。もちろんどちらも原子核の現象が関係しているのだから、共通した装置も用いられる。例えば^{注一}ガイガー測定器は、どちらの研究にも必要である。しかし本尊ともいべきサイクロトロンと^{注二}原子炉とは全く異なったものであり、一方の研究が他方の研究につながるものではない。^{注三}

原子核物理から生まれた第一子が、原子爆弾という凶器であったことはきわめて不幸であった。原子核研究の本流につきすむことは人類の進歩のためにやめることはできないことだと信じて、原子核物理から生まれ出た

2

³子があまりに凶悪

であるので、原子物理学者たちは、自分の研究結果の悪用がいかにも不幸なものかと痛切に感じさせられている。なるほどこれは物理学にかぎったことではなくて、科学全般の問題である。化学からは薬も生まれるが毒ガスも生まれる。細菌の研究は伝染病の予防や治療に欠くことができないが、悪用されれば細菌兵器の製造に役に立つ。しかしそうはいっても水素爆弾のかぎりない破壊力を最もよく知っている原子核物理学者が、その点について特に心配をもつのは当然である。特に現在の世界情勢をみると、最近はずこし好転したようにみえるものの、まだ二つの世界の両方で原子爆弾や水素爆弾をあとからあとと作っている。こういう状態で、特に日本では、そのおかれている国際関係からみて、原子力の研究のみならず原子核研究をやることはあぶないことではないか、という心配のあるのは当然である。

原子核研究をやっている人間の間で、原子核の基礎研究を、このような情勢下でも、やはりもっと進めるべきではないかという考えが出たのは、二年ばかり前のことであった。しかし、この人たちも同じ⁴心配をもったので、学術会議にこれを取上げてもらい、この問題はそこで慎重に検討された。その結果、原子力研究についてはなおいろいろ考えるべき点が多いが、原子核研究はその目的も装置も原子力とは異なっており、原子兵器との直接の関係もないことであり、また、純粹に基礎的な研究は、どういふ事態においても育てていかなばならぬとの観点から、原子核研究所の設立が学術会議全体として要望された。そしてその設置を政府に申入れようときめたのは昨年春の総会のことであった。その後この研究所のあり方について、原子核研究をやる人間

の間でいろいろ論議され、検討され、研究所の目的を明瞭に原子核研究にかぎることにし、また、この研究所は東京大学が管理するが、ここで研究の方針は、全国の研究者が協議によって定め、全国の研究者がその方針にしたがってここを研究の場所に利用する、というやり方で行くことになった。このように、この研究所はいわゆる原子炉予算のようにぼつかり出たものでなく、また原子炉予算で作られるものでもなく、それとは無関係にもっと前からいろいろ慎重に検討されてきたものである。そして、この原子核研究所がいよいよ東京西郊の田無^{たなし}という町にある東大農場の一部にたてられることになったとき、田無の町の人々の反対にぶつかった。

町の人々の反対の理由はいろいろであるが、要するに原子核の研究者たちや、学会会議の人びとが心配したのと同じ心配がその中心である。私も町に出かけて行って、町の人びとの声をきいた。町の人の、その日の生活に困っている人間があるのに、原子核の研究などなんのことか、もっと人を幸福にすることが先であるという声にも、人間として動かされた⁵。また、学者がいろいろ悪用されないように気をくばっても結局政治の力におし流されて、爆弾を作るようになるにちがいない、という声にも考えさせられた。この人たちのこういう心配は、実に肉体的なものであって、聞くものに強い印象を与えたのである。われわれは、われわれの研究所をそうやすやすと 6 ものかと信じているし、それはそうやすやすとできることではないと考えていても、今の政治のいつわりにみちたありさまをみている人たちが、この不安をもつことを否定できない。

しかし、それにもかかわらず純粹の研究だけはやめるわけにはいかない。科学者は、国民に対して研究を怠らずやる義務をもっている。たとえば原子核研究を日本の科学者が今までも細々ながらやっていたからこそ、^{注四}ビキニ事件にあれだけ対処できたのであって、あのときもし日本の科学者がガイガー管の使い方も知らず、灰の分析法も研究していなかったとすれば、これは重大な怠慢であり、国民に対する義務を怠っていたという責任を負わねばならぬ。

このように反対の有無にかかわらず研究はやらねばならぬと研究者たちは信ずるが、それは国民から研究者が監視されていることを意味する。そして万が一、反対した人のいった通りの事態に将来なつたとしたら、この人たちにどういふ顔むけができるであろうか。そう考えると、研究者は自分の行動を常に反省して、軽々しいことはやれないことになる。この田無の事件はこの

点を研究者たちに肉体的に印象づけたという点で非常な意味があるのではなかろうか。

科学者が一方では研究を遂行せねばならぬ義務を負っており、同時に他方ではその悪用に対しても責任をもたねばならぬとして、科学者自身の力がここでもいかにも弱いものであることも事実である。科学者自身が自分の行動を軽々しくしないということだけで、悪用を防ぐことはできない。この点で科学者は非常に苦悩するのだが、結局科学の悪用を防ぐのは、国民全体、人類全体の意志と力でなければならぬ。その意味からいって、田無の人々がこの問題に大きな関心をもつということは敬意を表すべきことである。そして今度の出来事で科学と人間という問題と、そして科学者も人間であるということの自覚がわれわれの間に深められたのである。

(朝永振一郎「原子核研究と科学者の態度」より)

注一 ガイガー測定器 放射線測定器の一種。

注二 サイクロトロン 原子核研究で用いられる、原子核を人工的に破壊する目的で粒子を加速する装置。

注三 原子炉 核分裂性物質を燃料とし、核分裂の連鎖反応を定常的に進行させてエネルギーを利用できるようにする装置。

注四 ビキニ事件 一九五四年にアメリカがマーシャル諸島北西部のビキニ環礁で行った水爆実験で、日本漁船の第五福竜丸などが被ばくした事件。

問一 傍線部1「本尊」とはここではどういう意味か。もっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート a)。

- ① 尊敬の対象となるもの
- ② 中心的な役割を担うもの
- ③ 奥深く隠されたもの
- ④ 最終的な目標となるもの
- ⑤ 実際に影響力を持つもの

問二 空欄2に入るもつとも適切な漢字を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート b)。

- ① 鬼 ② 龍 ③ 蛇 ④ 熊 ⑤ 猿

問三 傍線部3「これ」の内容を記述解答用紙I3の解答欄に即して、二十字以上二十五字以内で記入せよ(句読点も一字と数える)。

問四 二箇所の傍線部4「同じ心配」の内容としてもつとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート c)。

- ① 原子核研究はやがて原子兵器開発につながるのではないか
② 原子核研究は住民の生命を危険にさらすのではないか
③ 原子核研究所の建設は住民の理解を得られないのではないか
④ 原子核研究所は国や自治体の財政を圧迫するのではないか
⑤ 原子核研究は政治のいつわりを助長するのではないか

問五 傍線部5「動かされた」を別の言葉に言いかえる場合にもつとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート d)。

- ① 理解した ② 譲歩した ③ 屈服した ④ 遠慮した ⑤ 共感した

問六 空欄6に入るもつとも適切な言葉を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート e)。

- ① 断念してやりなす ② 住民に開放する ③ 兵器工場に転換させる ④ 妥協して縮小させる
⑤ 他分野に譲りわたす

問七 傍線部7「どういう顔むけができるであろうか」には筆者のどのような思いが表れているか。もっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート f)。

- ① 住民に対して慰めの言葉がみつからないことへの不安
- ② 面目がつぶれて腹立たしい思いをすることへの不安
- ③ 研究者に対する信頼が大きく損なわれることへの危機感
- ④ それ以降監視の目がより厳しくなることへの危機感
- ⑤ 身の危険からおもてに出入れなくなることへの不安

問八 傍線部8「田無の人々がこの問題に大きな関心をもつということは敬意を表すべきことである」と筆者が考えるのはなぜか。もっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート g)。

- ① 田無の人々が自分たちの町を守ろうとするのは当然であり、その気持ちは尊重すべきであるから。
- ② 田無の人々が科学者を同じ人間として受け入れ、理解しようとしてくれることはありがたいから。
- ③ 科学の悪用に対して科学者自身にできることはないことを人々に理解してもらう必要があるから。
- ④ 科学の悪用を防ぐにはすべての人々の意志と力が必要であり、関心をもつのはその第一歩だから。
- ⑤ 科学の悪用を防ぐには、まず人々が科学者の弱さを認識してしっかり監視する必要があるから。

Ⅱ A 次の1～3の（ ）内のカタカナを漢字に直し、4～6の（ ）内の漢字の読みをひらがなで記せ（解答欄は記述解答用紙Ⅱ1～6）。

- 1 同僚と（コンシン）会を行う。
- 2 事件の（ケイイ）をお話します。
- 3 彼は飲むと（トタン）に性格が変わる。
- 4 このデザインも（意匠）権の保護対象となる。
- 5 （定石）を踏めばまず失敗はしないだろう。
- 6 金メダルを獲得し、（雪辱）を果たした。

Ⅱ B 次の7～10の（ ）内のカタカナと同じ漢字が当てはまるものを①～⑤からひとつ選び、その数字をマークせよ（解答欄はマークシート h ～ k ）。

- | | | | | | |
|------------------------|--------------|---------------|--------------|------------|-------------|
| 7 病原菌はあらゆる環境に（ヘン）在する。 | ① 「ヘン」見をもつ | ② 気候の異「ヘン」 | ③ 雑誌の「ヘン」集 | ④ 普「ヘン」的性質 | ⑤ ガラスの破「ヘン」 |
| 8 彼は新療法の効果について（カイ）疑的だ。 | ① 「カイ」古主義 | ② 「カイ」顧録 | ③ 後「カイ」する | ④ 弁「カイ」する | ⑤ 警「カイ」する |
| 9 背後から（シュウ）撃される。 | ① 「シュウ」間天気予報 | ② 「シュウ」合写真 | ③ 「シュウ」名披露公演 | | |
| | ④ 晩「シュウ」の風景 | ⑤ 高校の「シュウ」了証書 | | | |
| 10 （ウ）頂天になってはいけない。 | ① 「ウ」宙の神秘 | ② 「ウ」月物語 | ③ 「ウ」為転変 | ④ セミの「ウ」化 | ⑤ 社会の「ウ」傾化 |

Ⅲ 次のA、B二つの文章はともに『徒然草』からの引用で、飲酒の習慣について述べている。後の問に答えよ。

[A] 世には心得ぬ事の多きなり。ともあることには、まづ酒をすすめて、強ひ飲ませたるを興とする事、如何なるゆゑとも心得ず。飲む人の顔、いと堪へがたげに眉をひそめ、人目をはかりて捨てんとし、逃げんとするを、捕へて、ひきとどめて、すすろに飲ませれば、うるはしき人も、忽に狂人となりてをこがましく、息災なる人も、目の前に大事の[2]となりて、前後も知らず倒れ伏す。祝ふべき日などは、あさましかりぬべし。あくる日まで頭いたく、物食はず、^{注一}によひふし、^{注三}生を隔てたるやうにして、昨日の事覚え、公私の大事を欠きて、煩ひとなる。人をしてかかる目を見する事、慈悲もなく、礼儀にもそむけり。かく辛き目にあひたらん人、ねたく、口惜しと思はざらんや。^{注一}「人の国にかかる習ひあり」と、これらになき人事にて伝へ聞きたらんは、あやしく不思議におぼえぬべし。

[B] かくうとましと思ふものなれど、おのづから捨てがたき折もあるべし。
 本^{もと}にても、心長閑に物語りして^{のどか}盃^{さかづき}出したる、万の興をそふるわざなり。つれづれなる日、思ひの外に友の入りきて、とりおこなひたるも、心なくさむ。^{注五}なれなれしからぬあたりの御簾^{みす}の中より御果物・御酒^{みき}など、よきやうなる気はひしてさし出されたる、いとよし。冬、狭き所にて、火にて物煎りなどして、隔てなきどちさし向ひて、多く飲みたる、いとをかし。旅の仮屋、野山などにて、「御肴^{みさかな}何がな」など言ひて、芝の上にて飲みたるもをかし。^{注六}いたういたむ人の、強ひられて少し飲みたるも、いとよし。よき人の、^{注七}とりわきて、「今ひとつ、
 [6] 戸^とにてひしひしと馴れぬる、又うれし。
 [6] 少^{すくな}し」など、のたまはせたるもうれし。近づかまほしき人の、

4 A

の夜、

4 B

の朝、^{あした}

4 C

の

(吉田兼好『徒然草』より)

注一 によひふし うめいて横になり

注二 人の国 外国

注三 これらになき わが国にはない

注四 とりおこなひたるも 酒盛りをするのも

注五 隔てなきどち 親しい者どうしで

注六 いたういたむ人 ひどく嫌がる人

注七 とりわきて 特別に

問一 傍線部1「心得ぬ事」の「心得ぬ」の現代語訳として適切でないものを次からひとつ選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート 1)。

① 共感できない ② 理解に苦しむ ③ 合点がいけない ④ わからない ⑤ わきまえていない

問二 空欄2に入るもつとも適切な語を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート m)。

① 罪人 ② 病者 ③ 老人 ④ 愚者 ⑤ 召人

問三 傍線部3「生を隔てたるやうにして」の解釈としてもつとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート n)。

- ① まるで他人事のように
- ② まるで動物のようになって
- ③ まるで死んでしまったかのように
- ④ まるで前世のことにように
- ⑤ まるで生垣を隔てたように

問四 空欄 4 A、4 B、4 Cに入る語の組み合わせとしてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート 0)。

- | | | | | | | |
|---|-----|---|-----|---|-----|---|
| ① | 4 A | 月 | 4 B | 花 | 4 C | 雪 |
| ② | 4 A | 雪 | 4 B | 花 | 4 C | 月 |
| ③ | 4 A | 花 | 4 B | 月 | 4 C | 雪 |
| ④ | 4 A | 月 | 4 B | 雪 | 4 C | 花 |
| ⑤ | 4 A | 雪 | 4 B | 月 | 4 C | 花 |

問五 傍線部 5「なれなれしからぬ」の解釈としてもっとも適切なものを次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート p)。

- ① 近寄りがたい身分の
- ② 酒に慣れ親しんでいない
- ③ 人づきあいが好きではない
- ④ 場に似つかわしくない
- ⑤ 遠慮のない間柄の

問六 二つの空欄 6に入るもっとも適切な語を次から選び、その数字をマークせよ(解答欄はマークシート q)。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 上 | ② | 下 | ③ | 奥 | ④ | 内 | ⑤ | 外 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

問七 この文章を要約した次の文章の空欄 7 A、7 Bに当てはまる言葉を、記述解答用紙Ⅲ 7の解答欄に即して、7 Aは十字以内、7 Bは五字以内で記入せよ。

著者は 7 A のは非常に悪い習慣であるとし、その弊害を説く一方で、友人や 7 B とともに上品に、なごやかに酒を酌み交わし、交流を深めることを推奨している。